

なじょだね



当院マスコット
キャラクター

平成24年3月10日発行

新潟県立松代病院

十日町市松代 3592-2

Tel:025-597-2100

Web:<http://www.matsudai-hp.com>

Mail:matu-hp@wonder.ocn.ne.jp

松代病院広報委員会

あいさつ

今年度を振り返って

事務長 関谷 春男

この冬は記録的な豪雪となり、皆様におかれましては、一段とご苦労されたことと思います。お身体に不安のある方は、いつでもお気軽に受診をお願いします。

さて、今年度の当院の主要事業を振り返って見ますと、ハード面では、2カ年に渡り皆様にご迷惑をおかけしました耐震補強工事が昨年10月末に完了いたしました。この間のご理解とご協力に感謝申し上げます。また、X線CT撮影装置の老朽化に伴い、3月には最新鋭の撮影装置に更新し、さらに的確な診断が可能となりました。これら、療養環境の整備と診療機能の維持向上により、より一層皆様から安心して当院をご利用いただけるものと思います。

また、ソフト面では、県立15病院では6月から「信頼される病院づくりキャンペーン」として各種のアクションプランを実施してまいりました。当院でも外来待ち時間対策として「折り紙教室」や「なじょだね健康教室」、地域へ出向いての「地域健康講座」などに取り組んでまいりました。多数の皆様のご参加をいただき大変ありがとうございました。ご好評をいただいておりますので、来年度もさらに内容を工夫して実施してまいりたいと考えております。

11月には「地域住民で支えるこの地域の医療」をテーマに「地域の医療を考えるシンポジウム」を開催しました。地域医療の主人公は地域住民であり、病院づくりは地域づくりとの視点から、地域医療の継続と元気な地域づくりなどについて、地域の皆様方と一緒に考えることができました。そして、当院を応援していただくというご意見も上がり、地域の皆様との太い絆を感じたところです。

今後とも「信頼される病院づくり」を目指してまいりますので、ご支援の程よろしく願いいたします。



松代病院を振り返って

看護師長 江村 良子



「歳月人を待たず」ということわざがあります。平成20年4月松代病院に転勤してあっという間に4年間がたちました。看護の仕事をして42年間かと思えます。色々な思い出があり簡単には言い表せません。ここまで元気で勤務できたのは、多くの職員に支えられ、又、家族の協力があったからだ感謝します。そして、最後の勤務場所、松代病院で仕事ができただことは、本当に良かった。やりがいと楽しさのある病院でした。今、全国で一番問題とされている「高齢社会」その中で地域医療の大切さ、重要性を強くこころに感じた場所です。病院にこられる人々、90歳と

いうのにやむなく一人暮らし、又老ろう介護をしている方と話していると本当にびっくりすることばかり。頭が下がりますし、反対に元気をももらったようにも思います。病院の理念「地域の生活を医療で支援します」～ここに生活する全ての皆様に最善の医療を尽くします。私はいつも仕事の中でこの理念を大切にしていました。松代病院の医療は全国どこへいっても負けなと思っています。院長先生のいつもあきらめない医療の方針がよく感じとれるので、看護もついていくのだと思います。毎年、新人が入ってくるので、フレッシュで楽しみがあります。長くいるスタッフも研鑽を積んでいかなければなりません。益々、努力をしていってほしいと思います。

又、松代町の楽しいイベントに参加することができてよい思い出となりました。地域シンポジウムの開催、松代相撲、ロマン24時間マラソン、祭りの民謡流し、納涼会、職員による花壇作り、等々、看護の職に身を置きながら、ほんの一端ではありますが地域の活性化に貢献できたものと思っています。最後になりますが、社会環境が年々変化していく中で、ますます地域医療の重要性が叫ばれます。そして医療に寄せられる期待は大きいと思います。変化する状況の中、皆様の益々のご活躍と松代病院の発展をお祈りします。



『歌広場』を開催しました♪

「入院患者さんに癒しの環境を提供したい！」
この思いから、昨年12月4日（日）に当院
1階ホールにて当院初となる『歌広場』を開
催しました！

8人のボランティア『エスポワール』（妻有福
社会）の協力で生バンド演奏により、往年の名
曲『青い山脈』や季節歌『シングルベル』な
ど計10曲を1時間かけて熱唱しました！
入院患者さんや地域の方44名と大勢の方
から参加いただき、職員も含めたくさんの笑顔
の花がホールいっぱいに咲き乱れ、院内中に
愉快的歌声と軽快な手拍子が響き渡りまし
た!!参加された方からも「楽しかった!」、「ま
たやってほしい」とお言葉をいただくなど大変
好評でした！



なじよだね健康教室



ある日の健康教室の様子

病院内で行っている健康教室です。参加費
無料で誰でも参加できます。今年度は3回
（腰痛予防・インフルエンザ・高血圧）開
催し、健康のために必要な知識を楽しく学
びました。これからも、健康で長生きする
ために必要な知識の情報発信の場として続
けていきたいと思えます。皆さまの参加を
お待ちしております。

地域健康講座

今年度は、病院スタッフが地域におじゃまして健康講座を開催しました。松代地域で2集
落・松之山地域で2ヶ所に行きました。地域に出ることで住民の皆さまの声を直接聞いたこ
とや、病院やスタッフのことを知ってもらったことなど、地域とのつながりが大切というこ
とを肌で感じました。今後も地域に出向き、地域の皆さまと一体となった地域医療づくりを
進めていきたいと考えています。

お知らせ

松代病院ボランティアの募集

いつもたくさんの方々に病院活動を御支援いただき感謝を申し上げます。

今年度も、「ちぎり絵」をはじめ、「松代絵の会」の皆様より作品をお寄せいただき院内に掲示させていただきました。

当院では、院内・待合室スペースを利用した趣味、特技等を活かした「癒しの場づくり」への参加やアイデアなど、また春～秋にかけての「花壇整備や草取り」、地域住民の皆様から御協力いただけるボランティア、支援活動を募集しております。

これからも、地域の皆様と顔の見える関係づくりを大切に、安心の暮らしを医療で支援していきたいと考えております。ボランティアに関する問い合わせ、窓口は事務長・看護部長です。お気軽に声をおかけ下さい。お待ちしております。

～松代病院の四季おりおり～



編集後記

新年度もよろしくお祈りします！

暖かい日が増え、除雪により山のように積まれた雪は見た目のかさも減り、春の陽に照らされたその山からはチョロチョロと雪解けの音が聞こえてきます。さんざん雪に振り回された冬だったため春の到来が嬉しい・・・はずなのですが、春は別れの季節でもあり寂しさもまた募る時期とあって複雑な心境の今日この頃です。当院でも年度の切り替わり時に定例『人事異動』があります。本紙冒頭記事ふたつはこの3月で定年退職する2名の言の葉です。このほか数名の職員が異動で当院を去りますが、在職期間は数年から職員によっては通算十数年間という長きに渡る者もいます。しかし、期間の長短に拘わらず全員が松代病院のみならず地域の医療を通じこの地域に身も心も捧げてきました。

春を象徴する桜、その花の色は祝いの赤ではなく薄い桃色です。桜が春の心を切なくさせるのは、散り方だけでなく花の色が別れの憂いを醸しているように思えるからかもしれません。

異動で当院を去る者を含め、当院は今年度も地域のみなさまに大変お世話になりました。

新年度は職員が入替わりますが、ひきつづきこの地域を医療で支援できるよう邁進したいと思いますので、みなさまからもご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

編集者 M.T